

解答はすべて解答用紙に書きましょう。

問題 1

みらいさんの学級では、国語の時間に、「学校のまわりの植物」というテーマで、班ごとに学級新聞を作ることになりました。みらいさんの班は、校庭にある桜をテーマに、何冊かの本で調べたことを参考にしながら記事を書きました。下の文章は、みらいさんたちが【調べた本の一部】と、みらいさんたちが作った【学級新聞の一部】です。これらを読んで、あとの問い(1)～(5)に答えましょう。

【調べた本の一部】

春といえば、サクラ。お花見に行ってお花見の下でお弁当を食べると、本当に楽しいですね。特別にお花見に行かなくても、学校の校庭や近所の公園、通学路や川の土手でサクラがいっぱい咲いているのを見るだけでも、うきうきしませんか？

日本でいちばん多く見られるのは、ソメイヨシノという品種です。北海道の南部から九州まで、いたるところに植えられています。ところで、このすべてのソメイヨシノは、もとはたった一本の木だったって知っていますか？

日本人は昔から、いろいろな品種のサクラをつくってきました。江戸時代の終わりころ、染井村(現在の東京都豊島区駒込のあたり)の植木屋さんたちは、葉よりも先に、大きくて上品なうすいピンク色の花をつけるサクラをつくりだしました。このサクラがソメイヨシノです。大人気となり、全国に植えられるようになりました。

でも、ソメイヨシノは種では増えません。種をまいても芽生えないのです。どうやって増やしたのでしょうか？種で増えない植物を増やすには、いくつかの方法があります。ソメイヨシノの場合は、つぎ木という方法で増やされました。つぎ木とは、土台となる別の木に、育てたい木の枝をうめこむ方法です。時間がたつと、つぎ木をした木と土台の木はつながり合っ、一本の木になるのです。

大きく育ったソメイヨシノから枝が切り取られ、根を張ったヤマザクラなどにつぎ木されます。つぎ木がくり返され、今では海外にも植えられています。(監修：荒俣宏『10分で読めるわくわく科学 小学5・6年』から)

【学級新聞の一部】

サクラ新聞

平成26年
12月16日

発行 者 組
6年1組
5班

見る人を楽しませてくれる桜

春になると、桜が花をさかせ、見る人たちを楽しませてくれますが、みなさんは、校庭にある桜の品種を知っていますか？それは「ソメイヨシノ」。江戸時代の終わりころ、江戸の染井村の植木屋さんたちが作り出した桜の品種です。

ソメイヨシノを増やす方法

校庭には多くのソメイヨシノがあり、みなさんはソメイヨシノの増やし方を知っていますか？わたしたちは、アサガオやヘチマなどの植物を種から育てました。しかし、ソメイヨシノは種では増えません。種で増えない植物を増やすには、いくつかの方法があります。ソメイヨシノは、つぎ木で増やされます。

桜はむかしも注目の的

世の中に、絶えて桜のなかりせば 春の心はのどけからまし
在原業平「古今和歌集」

【意味：世の中に美しい桜がなくなったのなら、(そわそわせず)春の人の心は落ち着いているだろうに】

豆知識コーナー

みんな知ってた？

担任の山口先生から聞いたことですが、校庭の桜の木は昭和三十年に植えられました。これらの桜の木も、江戸時代から命がながつていて、と考えると、春に花がさくのがますます楽しみです。みなさんも、校庭の桜の木や花をじっくりとながめてみませんか？

いつせいに花をさかせるソメイヨシノ

ソメイヨシノの開花には、気候が関係しています。ソメイヨシノは、一定の期間寒い日が続き、花をさかせる準備がととのいます。その後、一定の期間あたためられ、花がさきます。同じ地域では、気温の変化がだいたい同じなので、いつせいに花をさかせます。

A

このようにつぎ木がくり返され、ソメイヨシノは、今では海外にも植えられています。

- (1) 【学級新聞の一部】の **A** には、つぎ木という方法を簡単に説明した一文が入ります。【調べた本の一部】からその一文をぬきだして書きましょう。
- (2) ソメイヨシノの花がさくためには条件があります。【学級新聞の一部】に書かれていることをもとに、「その条件は、～です。」という書き方にあうように、35字以内で書きましょう。
- (3) 【学級新聞の一部】に、在原業平の作品について、「これは、藤原道長などの貴族が大きな権力をもっていた **B** 時代に作られた **C** です。」と説明しています。**B** と **C** にあてはまる言葉の組み合わせとして適切なものを、次のア～エから1つ選び、記号で答えましょう。
ア B-平安, C-俳句 イ B-平安, C-短歌 ウ B-鎌倉, C-俳句 エ B-鎌倉, C-短歌
- (4) 【学級新聞の一部】の豆知識コーナーに、「校庭の桜の木は、昭和三十年に植えられました」とありますが、このことは担任の山口先生から聞いたことなので、この文を人から伝え聞いた書き方にすることにしました。文末の「ました」の部分、人から伝え聞いた書き方に直し、5文字で書きましょう。
- (5) みらいさんたちが作った【学級新聞の一部】の書き方について、あてはまるものを、次のア～エから2つ選び、記号で答えましょう。
ア 見出しを短い言葉で書き、何について書かれた記事なのか、ひと目で分かるようにしている。
イ 調べた本に書かれていた情報をくわしく伝えるため、本に書かれているすべての内容を書いている。
ウ 調べたことに対する考えを伝えるために、学級新聞で取り上げたすべての事実に対して一つ一つ感想を書いている。
エ 読者に対する問いかけの文や、語りかけの文などを取り入れて、親しみやすい紙面になるようにしている。

問題 2

しんじさんの通っている小学校の6年生は、職場見学に行くことになり、しんじさんの班は、自動車部品のねじを作っている清水さんの工場をたずねました。次の文章は、しんじさんが、見学前に先生からわたされた地図(図1)を見ながら、清水さんにインタビューをしたときの会話の一部です。あとの問い(1)～(5)に答えましょう。

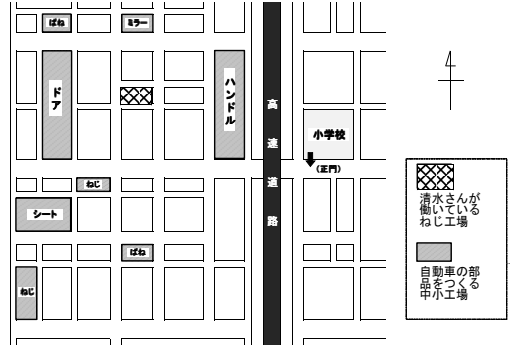
しんじ：ぼくたちは、小学校の正門から出て、まず(あ)に向かい、高速道路の下を通ったあと、3つめの交差点を曲がって(い)にまっすぐ進み、清水さんの工場まで来ました。清水さんの工場の東には、自動車の(う)を作っている工場もありますね。このように、この地域に、自動車の関連工場が集まっているのはなぜですか。

清水さん：この地域のすぐ近くには、自動車組み立て工場があります。もし、自動車組み立て工場で組み立てに必要な部品が少なくなったら、その部品を作っている中小工場から、必要な数の部品をすぐに運び、補うことができるようになっています。a わたしたちのねじ工場も、そのような中小工場の1つです。

しんじ：なるほど、いろいろな工夫があるんですね。少し前のニュースで、世界の自動車工業について、b 自動車の生産台数を増やす国が出てきており、外国との競争が激しくなっていることを知りました。何か対策をとっておられるのですか。

清水さん：自動車工業などの機械工業は、c 日本の工業の中で、出荷額の割合が大きい工業です。日本製の工業製品がよく売れる理由としては、製品の品質が高いことがあります。日本の自動車会社でも、たくさん売れるように、製品の品質を保つための対策をとっています。d わたしたちの工場も、近くの中小工場と協力しながら、品質の向上に努めています。

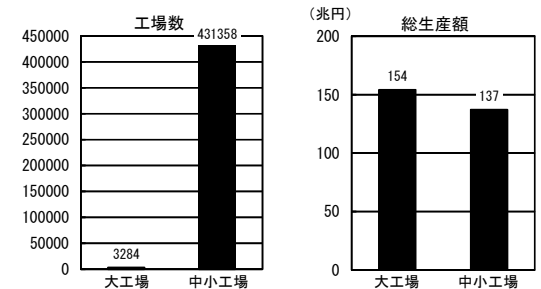
図1 先生からわたされた地図



(1) 図1を見て、会話文中にある(あ)、(い)にあてはまる方位、(う)にあてはまる自動車の部品の名前をそれぞれ書きましょう。

(2) 下線部aについて、しんじさんが日本の大工場と中小工場について調べたところ、図2のようなグラフを見つけました。これらの2つのグラフから、しんじさんは、工場数は中小工場より大工場の方が少ないが、総生産額は大工場の方が多くことに気づきました。中小工場より数の少ない大工場の方が、総生産額が多いのはなぜか、図2のグラフをもとに説明しましょう。

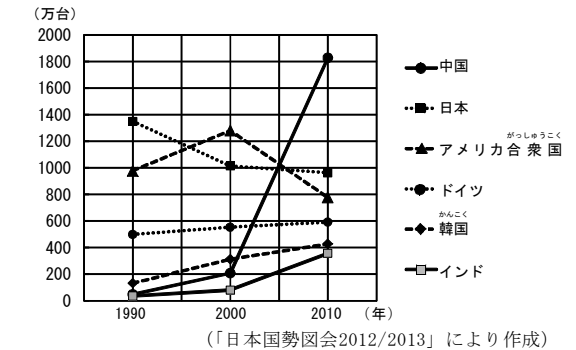
図2 日本の大工場と中小工場の工場数と総生産額<2010年>



(3) 下線部bについて、しんじさんが調べた結果をまとめたものが、図3です。このグラフを見て、あとの問い①、②に答えましょう。

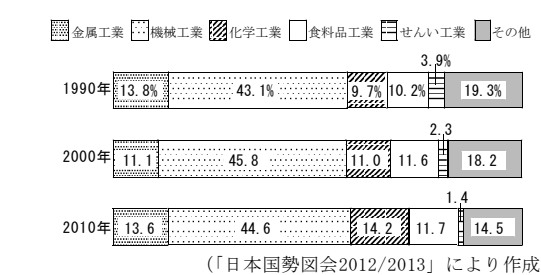
- ① 図3にある6つの国の中で、ヨーロッパにある国を1つ選び、その国の名前を書きましょう。
- ② 図3のグラフから読み取ることのできる情報として正しいものを、次のア～エから2つ選び、記号で答えましょう。
- ア 2010年のインドの自動車生産台数は、1990年のインドの自動車生産台数の約2倍である。
 - イ 2010年の中国の自動車生産台数は、2010年のドイツの自動車生産台数の約3倍である。
 - ウ 1990年と2010年を比べたとき、自動車生産台数が約200万台減っているのは、6つの国のうち、日本とアメリカ合衆国である。
 - エ 2010年の韓国の自動車生産台数は、1990年の韓国の自動車生産台数に比べ、200万台以上増えている。

図3 世界の自動車生産台数のうつつりかわり



(4) 下線部cについて、しんじさんが日本の工業出荷額を調べていると、図4のグラフを見つけました。図4にある各工業の中で、日本の工業出荷額全体に占める出荷額の割合が、1990年に比べ、2000年、2010年ともに増加し続け、さらに、この20年間の増え方が最も大きいのは、どの工業でしょうか。その工業を書きましょう。

図4 日本の工業出荷額全体に占める各工業の出荷額の割合



(5) 下線部dのように、清水さんは、「わたしたちの工場も、近くの中小工場と協力しながら、品質の向上に努めています。」と言われました。あなたが、これまでに友だちと協力して取り組み、成果をあげてきたことを、具体的な場面を取り上げ、200字程度で書きましょう。

注意

- 1行目の1マス目から書き始めてください。段落を設けずに続けて書きましょう。
- 書き終えたあと、つけ加えたり、けずったりしてもかまいません。そのときは全部消して書き直す必要はありません。次の例のように直しましょう。

(例)

